

【開催報告】2024 年度ヨコハマ FD 連絡協議会

日時：令和6年12月21日（土）14:00～17:15

場所：関東学院大学 関内キャンパス

参加者数：43 名（外部講師 1 名、神奈川 9 名、関学 11 名、横国 12 名、横浜市 11 名）

各大学の参加者の内訳：

大学名	教員	職員	学生	合計
神奈川大学	3	4	2	9
関東学院大学	3	5	2	10
横浜国立大学	8	2	2	12
横浜市立大学	6	3	2	11

1. テーマ

授業評価 一意義ある実践と FD への接続に向けてー

2. 概要

令和6年12月21日（土）に、関東学院大学関内キャンパスにて「2024 年度ヨコハマ FD 連絡協議会」を開催いたしました。

ヨコハマ FD フォーラムは、FD（教育改善）活動について連携する包括協定を締結している4大学（神奈川大学、関東学院大学、横浜国立大学及び本学）が、その連携の一環として年に1度開催しています。第10回目となる今年度は、各大学の取組を広く一般に開放する「フォーラム」形式を見直し、4大学のFD関係教職員を主たる参加者として開催する「連絡協議会」の形式をとることとなりました。

3. 内容

（1）外部講師による講演

金沢大学教学マネジメントセンター副センター長 林 透先生から、「授業評価アンケート見直しから始まった教学マネジメント改革～金沢大学における取組を通して～」というテーマでご講演いただきました。

（2）各大学における授業評価共有

4大学における授業評価の取り組み内容や課題について、各大学の代表者から発表しました。

（3）トピック別ディスカッション

下記4つのトピックに分かれて、各大学における授業評価の状況や悩み、課題などについて

て、学生も交えたグループディスカッションが行われました（※は教職員のためのトピック）。

ア アンケート回収率や回答の質の向上

イ アンケート結果の活用（結果の公開、授業改善やFDへの活用）

ウ アンケート結果の教員へのフィードバック、表彰制度 ※

エ アンケートの実施方法（システム、コスト、運営体制）※

4 大学で共通した課題として、授業評価アンケートの趣旨を学生に理解してもらうことの難しさ、回答率の低さ、アンケート結果を踏まえた授業の改善が十分にできていないことなどが挙げられました。

（4）協定調印式

横浜4大学において、FDだけでなくSD（Staff Development）においても連携を行っていくことを目的として、「FD・SD活動の連携に関する包括協定書」の改訂が行われました。それに伴い、協議会の最後に4大学の代表者による協定調印式を行いました。本学からは橘副学長（高等教育推進センター 副センター長）が出席しました。